

# 栗林すみれ piano 藤本一馬 guitar

※マスクの着用を必ずお願いいたします。  
※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2021 **01月30日(土)**

開場 17:30 night live

開演 18:00

(90分1ステージ 小休止有) (1drink=600円~)

MC=3000円 +2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、  
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を  
ご記載下さい。



## 栗林すみれ

埼玉県立芸術総合高等学校音楽科、尚美学園大学芸術情報学部音楽表現学科 ジャズ&ポップスコース卒。2014年 JAZZAUDITORIA にてオープニング・アクトを飾り、その後3回に亘ってブルーノートキーオーに出演。同年、行方均氏のプロデュースでサムシンクルレーベルからデビュー。1stアルバム” TOYS ” がジャズライフ、ジャズジャパンなどに取り上げられ 2014年ディスクグランプリニュースター賞受賞。2015年早くもセカンドアルバム” Travellin' ” をリリース。2017年金澤英明との双頭リーダー作 ” 二重奏 ” をローヴィングスピリッツから発売。2018年、総勢11名参加のアンサンブル作品” Pieces of Color ” とピアノトリオ作品” the Story Behind ” を二ヶ月連続リリース。ジャズライフ誌で表紙、巻頭特集でとりあげられる。同年、Yokohama Calling のプロジェクトに参加、ロンドンのホクストンホールでのリーダー公演が好評を博す。アンドリア(イタリア)でのソロコンサートも行う。トランペッター Niran Dasika とのデュオ、カルテット、また栗林すみれセクステットとしてオーストラリアのジャズフェスティバルに出演。一番印象的だったパフォーマンス (australianbookreview より)、フェスティバルのハイライト (CyberHalides Jazz より)、と評される。溝口肇のジャズアルバムへの参加や、NHKBS プレミアム『美の壺』でオリジナル曲が使用されるなど作曲やアレンジ方面の才能も発揮している。先人への敬意と幅広い音楽性の融合から紡ぎだされるオリジナル曲とインプロヴィゼーションは新たな世界を切り開きながらも心地よく、多くの聴衆の心をつかむ。



## 藤本一馬

ギタリスト、コンポーザー。1998年ヴォーカルのナガシマトモコとのデュオ、orange pekoe を結成。2002年1st作「Organic Plastic Music」で幅広い支持を獲得。その後も国内はもとよりアジア各国や北米でも活動を展開。2011年ソロ名義での1stアルバム「SUN DANCE」をリリースし、雄大な自然からの着想、自己の内面を投影した叙情的なオリジナル楽曲のもとに、アコースティックな響きと空間的余韻を内包したインストゥメンタル音楽を展開。ジャズやクラシック音楽だけでなくワールドミュージックリズナーなど幅広い支持を得る。その後もカルロス・アギーレ (pf) やアンドレ・メマーリ (pf)、シルビア・イリオンド (vo) 等をフィーチャーしたソロ名義作「Dialogues」、《My Native Land》、《FLOW》、また伊藤志宏 (pf) とのデュオ作「Wavenir」を発表。2019年、予てから活動を展開していた林正樹 (pf)、西嶋徹 (cb) との FLOW トリオに福盛進也 (dr) が参加し、藤本一馬カルテットを始動。フォークロリクな感性と室内楽の持つ静謐さ滲みえたコンテンポラリー・ジャズへ昇華。その他、これまで国内および海外まで多数のアーティストと共演。旋律的でリカルなアプローチ、ときに野生的なダイナミズムまで、その音楽性は高い評価を獲得している。